

新人剣道大会要項(案)

- 1 大会名 第37回 糟屋区中学校新人剣道大会
- 2 主催 糟屋区中学校体育連盟
- 3 期 日 令和2年 10月10日(土)7:30開場 8:30審判・役員打ち合わせ会 9:00競技開始(女子) 12:30競技開始(男子)
- 4 会 場 須恵町立須恵中学校 糟屋郡須恵町大字上須恵1167-1 TEL092-932-0116
- 5 参加資格 糟屋区中学校総合・新人体育大会参加基準に準じる。
- 6 競技方法 (1) 男子団体戦、女子団体戦ともにトーナメント戦で行う。
(2) 試合順序は、午前中に4コートを使い女子、午後から4コートを使い男子が行う。
- 7 競技規則
 - (1) 試合規則は、全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則・細則」及び「日本中学校体育連盟剣道部申し合わせ事項」による。
 - (2) 申し込み後のオーダー変更は認めない。補員交代は、下記の場合のみ認める。
 - ・ 各試合までに申し込みがあった場合(コート主任に申し出ること)
 - ・ 補員出場は、欠場者の位置に入れる。
 - ・ 一度退場した者は再出場できない。
 - (3) 不正出場が認められた場合、不正出場者は負けとする。
 - (4) 団体戦 ・3分3本勝負とし、勝敗の決しない場合は、引き分けとする。
 - ・ チームの勝敗は勝者数により決定する。勝者数同数の場合は、取得本数により、取得本数同数の場合は、代表戦によって決定する。
 - ・ 代表戦(誰でも可)は、3分1本勝負とし、勝負の決しない場合は、勝負が決するまで延長戦を行う。
 - (5) 竹刀は、長さ114cm以内、重さ男子440g以上、女子400g以上とする。
また、竹刀の先端の直径は男子25mm以上、女子24mm以上とし、先皮の長さは5cm以上とする。
 - (6) コートの広さは10m×10mとする。
 - (7) チームの編成および参加人数
 - ・ 男子団体 1チーム選手3名～5名と補員(5名に満たない場合は1次鋒、2副将の順に空ける)
 - ・ 女子団体 1チーム選手3名～5名と補員(5名に満たない場合は1次鋒、2副将の順に空ける)
 - (8) 地区大会出場資格は、団体戦 男女各5校とする。
 - (9) 引率・監督は、当該学校の校長・教員・部活動指導員とする。コーチについては、出場校教育職員・部活動指導員とする。但し、教育職員以外のコーチは校長が認め、県中体連に登録し、承認を受けた者とする。

8 表 彰 男女団体3位まで表彰する。

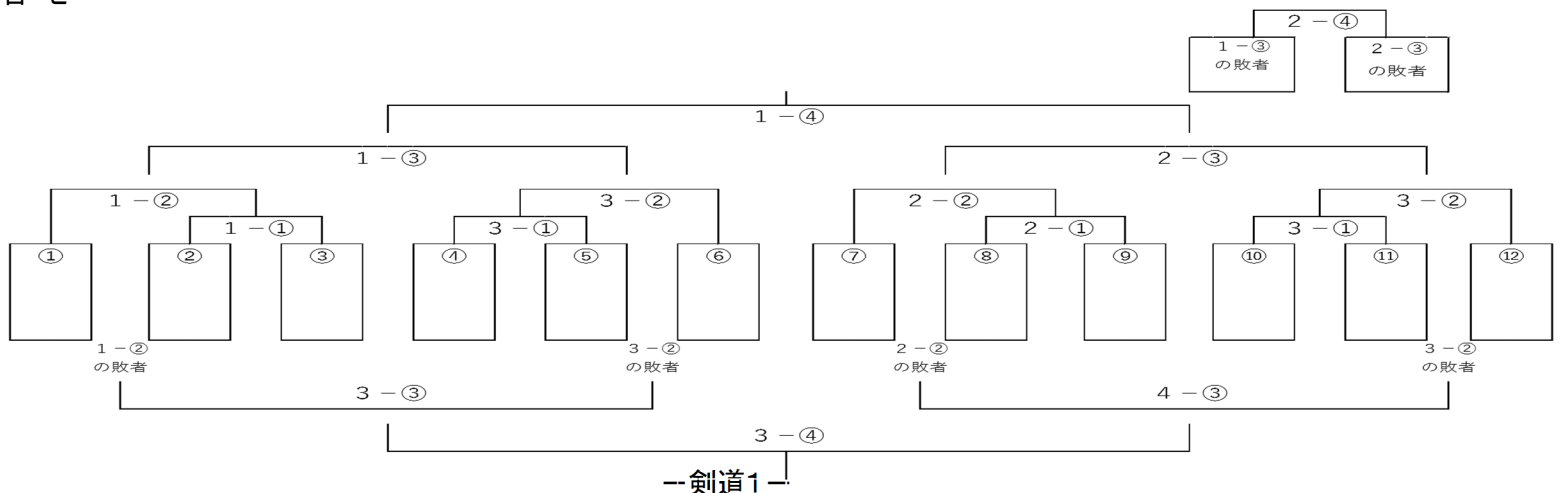
9 選手申し込み

- (1) 大会申込書(団体)を9月25日(金)までに提出する。(古賀北中 山崎までFAX)
- (2) 連絡先 〒811-3113 古賀市千鳥4-4-1 古賀市立古賀北中学校 Tel 092-943-4550
山崎 貴大 Fax 092-943-8063

10 その他

- (1) 目印(全長70cm、幅5cm)は各校で準備する。
- (2) 面紐の長さは40cm以内とし、長い場合は監督または選手が切断する。
- (3) 問題が生じた時は、専門部内での協議により決定する。
- (4) 試合中のカメラのフラッシュ、ビデオのライトは禁止する。
- (5) 会場へのジュースのビン・缶・ペットボトルの持ち込みを禁止する。
- (6) 団体戦のオーダー用紙を当日の朝に提出する。
- (7) 各学校で竹刀の点検を入念に行うものとする。
- (8) 竹刀の柄皮の滑り止め(ゴムなど)は禁止とする。
- (9) 面乳皮の華美なものは禁止とする。(黒・紺はOK)
- (10) 三所隠しについては、合議のうえ一回目指導、2回目以降反則とする。
- (11) 開会式前に各会場でマナーチェックを実施する。
- (12) AEDは、体育館後方、出入口付近に設置する。
- (13) 新型コロナウイルス感染症防止対策ガイドラインを遵守する。

11 組合せ



糟屋区新人剣道大会における新型コロナウイルス感染対策について

1. 選手に関わること

- 試合に出場する選手は、自宅からマスクを着用し、剣道着・袴に着替えて会場に入る。（更衣室の提供はしない。）
- 当日までの2週間検温を行い、結果を提出する。当日に37.0℃未満の者しか、会場に入れない。また、咳、咽頭痛、頭痛等がある場合も会場への入場を遠慮してもらう。
- 同居家族、身近な知人に感染が疑われる方がいる場合、自身が濃厚接触者に当てはまる場合は入場を制限する。
- 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の経過観察期間を必要とされている国や地域等への渡航、または当該在住者との濃厚接触がある場合も入場を制限する。
- 会場に入る際には、必ず手洗いと手指の消毒を行う。
- アップ時より、面マスク、フェイスシールドの着用を義務付ける。（教員がアップに入る場合も同様とする）
- 試合後にはすぐにマスクを着用する。
- 個人で使用する防具や竹刀、その他の道具などは全て個人で取り扱いを行う。（水筒やタオル等も含む）
- 試合前後のミーティング等を行う場合はフィジカルディスタンスを保ち、会場外で行う。

2. 保護者に関わること

- 保護者の観戦は認めるが、必ず当日の朝の検温と健康チェックを受けた方のみ入場できるものとする。
また、その際も体温が37.0℃未満、咳、咽頭痛、頭痛等がある場合も会場への入場を遠慮してもらう。
登録選手1名につき、保護者1名まで入場を認める。（中学生以下の子どもが入場する場合も、人数に含まれる）
- 同居家族、身近な知人に感染が疑われる方がいる場合、自身が濃厚接触者に当てはまる場合は入場を制限する。
- 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の経過観察期間を必要とされている国や地域等への渡航、または当該在住者との濃厚接触がある場合も入場を制限する。
- 会場に入る際には、必ず手洗いと手指の消毒を行う。
- 会場内には保護者の待機場所は設けず、各自の車内等で待機してもらいお子様の試合の際に入場してもらう。（検討）
- 試合観戦の場合には、フィジカルディスタンスを保つ。
- お子様の試合が終了次第速やかに会場から退場してもらう。

3. 会場に関わること

- 時間を決め、定期的の手洗い、換気を行う時間を設け、本部より連絡を行う。
- 手洗いの際には30秒以上手洗いをする。
- トイレには、消毒液を設け、手洗いと消毒の両方を行うように連絡する。
- トイレは、フタを閉めて流す。
- トイレは、定期的消毒を行い感染防止に努める。
- 選手控室も定期的消毒を行う。
- エントリー選手及び2年生の応援部員、補助役員生徒以外の生徒の入場を制限する。
- 保護者が観戦する際にフィジカルディスタンスを保つための掲示物を作成する。
- 外部審判を依頼する際には、保護者が記入した内容と同様のものを記入してもらう。
- 各校待機場所を使用した際には、各校で責任をもって消毒を行う。

4. 審判員へのお願い

- 大会当日までの2週間検温を行い、用紙に記入し、当日受付で提出する。
- 当日の体温が37.0℃未満、咳、咽頭痛、頭痛等がある場合も会場への入場を遠慮してもらう。
- 同居家族、身近な知人に感染が疑われる方がいる場合、自身が濃厚接触者に当てはまる場合は入場を制限する。
- 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の経過観察期間を必要とされている国や地域等への渡航、または当該在住者との濃厚接触がある場合も入場を制限する。
- 会場に入る際には、必ず手洗いと手指の消毒を行う。